



自然探訪教室 (八幡平)



明老大学 (うた声講座)



矢沢地区一斉清掃



明老大学 (トリム体操)



第32回グラウンドゴルフ大会



キッズわくわくスクール

8月12日現在、矢沢振興センターなど市の公共施設利用レベル3の状態が続いており、土日祭日や17時以降の利用禁止等様々な制約があります。その中で、各サークルは感染

防止対策を取りながら、元気に活動を続けています。矢沢地域振興会や各種団体が主催する事業も例外ではありません。

ここでは今年度の事業の一部を写真で紹介いたします。

「コロナ禍にも夏の暑さにも負けず！」

矢沢地域情報誌

やまぼろひ

No. 37

2021年9月1日

発行 / 矢沢地域振興会(矢沢振興センター内) 電話 29-5480

mail : yashinkai025@gmail.com

聖火リレーに参加して



矢沢 中島 陽太

花巻で聖火ランナーに参加させてください。中島陽太です。

皆さん治道でのご声援本当にありがとうございました。今回は、新型コロナウイルスで一年先延ばしになってしまったオリンピックですが、新型コロナウイルスに負けず、世界中の皆さんにオリンピックを通じて元氣や希望を与えることができるような大会にしたいという思いで走らせて頂きました。



聖火を引き継ぐ瞬間



花巻で聖火リレーに参加された皆さん

今回の大会でも、日本の選手たちがたくさんのメダルや素晴らしい成績を収めていることは皆さんも既にご存知だと思います。この選手たちの活躍する姿を是非最後まで見届けて、世界中に元氣や希望が広がるととても嬉しく思います。新型コロナウイルスに負けずに、また元通りの生活が戻るように私たちがもう一息踏み張りながら生活しましょう。

(令和3年8月8日記)

変る中山間地域の棚田 平良木地区で工事安全祈願祭

平良木地区農地中間管理機構関連農地整備事業促進委員会（川村憲一会長）では、地域の長年の懸案であった農地整備事業が進められることから、工事の安全と完成を願い8月2日に平良木公民館において、工事安全祈願祭を実施しました。祈願祭には、上田東一花巻市長をはじめ岩手県、花巻市、猿ヶ石北部土地改良区、施工業者（株式会社佐藤組）など関係機関や地元から31名が出席、酷暑の中で厳かに執り行われました。

平良木地区促進委員会の川村憲一会長は挨拶で「工事区域には、3集落があり多少の違いはあっても各戸で長年にわたり農林業を営んでいました。しかしながら昨今の農業変貌により集落人口の著しい減少（昭和63年400名↓現在150名）と後継者難（耕作委託・不在地主増加）は、これからの農家や集落はどうなるのか皆の共通の危機意識がありました。地域の貴重な資源である農

地・水田を有効活用し営農を継続していくことで集落を守り発展を図ることが必要です。そのため中山間地域であつても農地整備により効率性を高め、担い手確保とこれからのスマート農業にも対応できる体制を何としても確立していきたい。」と述べました。



式典風景（玉串奉奠）

農地中間管理機構関連農地整備事業概要

地区名：平良木地区
 事業主体：岩手県
 受益面積：69.5ha
 受益戸数：68戸
 総事業費：2,683,000千円
 事業実施年度：令和元年度から令和6年度
 主要工種：区画整理
 標準区画：30a～50a
 関係土地改良区：猿ヶ石北部土地改良区



川村憲一会長

「はなしん桜の絵画コンクール」 矢沢小学校の入賞作品

花巻信用金庫主催の第8回「東北・夢の桜街道児童絵画コンクール」が開催され、市内17校、宮守町内2校から1347点の応募がありました。6月20日の審査会の結果、矢沢小学校からは1・2年の部で審査員特別賞に2年中島真奈さん、3・4年の部で優秀賞に3年大木陽陽君、5・6年の部で最優秀賞に6年の大木陽道君が、また佳作に2年生の大木ここなさん、小原崇大君、高橋ひなたさん、佐藤美寿さん、4年の佐藤穂果さん、6年の菅原埜乃さんが入賞しました。

応募作品は銀河モール花巻に展示され、多くの方が様々な桜の絵に見入っていました。



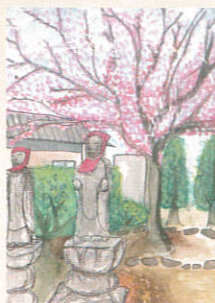
児童たちの絵に熱心に見入る老夫婦



審査員特別賞：2年・中島真奈さん



優秀賞3年・大木陽陽君



最優秀賞6年・大木陽道君

矢沢学童クラブ

主任支援員 正路 健介

令和3年度から矢沢学童クラブで主任支援員を務めることとなりました。前年度までとは役割も責任も大きく変わり、一日一日の大切さをより一層感じていきます。



現在矢沢学童クラブは山名の児童が在籍しております。

ます。感染症対策や定員問題等で学童の本来の役割を考えさせられる日々の中、毎日会う子ども達には本当に力をもらっています。一緒に過ごしていく中で人と人との関わりにおいて大切なことに気付かされることも多く、「育ち合い」の日々と教えられる毎日です。

矢沢学童クラブは、保護者の皆様や地域の方々のたくさんの方々の協力や見守りで支えられていることに本当に感謝しております。これから矢沢学童クラブは子どもも保護者の皆様も、自ら行きたい・預けたいと思える学童を目指していきたいと思っております。今後とも地域の皆様にはご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

小学校コーナー

矢小の児童奮闘!

令和3年度の矢沢小学校の児童達の活躍を紹介いたします。コロナ禍ではありますが、感染防止に努めながら頑張っておりますので、今後とも地域の皆様のご声援を頂きますようお願いいたします。

◆第13回岩手県春季学童水泳競技大会(令和2年度)

4年生男子50mバタフライ

第2位 押切 登輝

(花巻東S.C)

4年生男子100mバタフライ

第1位 押切 登輝

(花巻東S.C)

◆第25回岩手県小学校バトミントンシングルス大会

4年生以下シングルス

第3位 4年 野呂奈々花

(矢沢ジュニア)

◆花巻市民スポーツ大会

柔道 小学生3・4年の部

第1位 菅原 侑理

バレーボール

チャレンジトーナメント

第1位

東和フェゼンツ女子

◆第42回全国スポーツ少年団軟式野球交流岩手県大会予選大会(岩手牛乳杯)

第1位

矢沢野球スポーツ少年団

◆第37回岩手県小学生陸上競技交流大会花巻地区予選会
小学校5年女子100m

第1位

5年 野呂萌々花

(花巻A.Cジュニア)

◆第15回岩手県小学生バトミントンダブルス大会

5年以下女子ダブルス

準優勝

5年 野呂萌々花

多田 紗羅

(矢沢ジュニア)

◆第43回花巻市スポーツ少年団スポーツ大会

ソフトボール競技 第1位

矢沢オレンジソックス

スポーツ少年団

◆第50回花巻市学童軟式野球大会花巻地区大会

準優勝

矢沢野球スポーツ少年団



矢沢オレンジソックススポーツ少年団



矢沢野球スポーツ少年団

中学校コーナー

矢中「県中総体」で健闘!

7月17、18日に第68回岩手県中学校総合体育大会が行われ、市の大会を見事勝ち抜いた精鋭たちが7つの競技に出場しました。今年度の県中総体は、コロナウイルスの感染拡大防止を目的に、練習試合や交流戦などが十分にできない状況のもと、当日を迎えました。両日は県内の気温が36℃を超える猛暑。熱中症の厳重警戒も出るなど厳しいコンディションでしたが、矢沢中生も各会場で大健闘を見せました。

結果は次のとおりです。

なお、○内は主催会場です。

◆陸上競技(北上市)

1年男子100MH

星川 大洋 第5位
1年男子1500M

佐々木悠人 第8位

◆柔道(盛岡市)

〈団体戦〉 一回戦敗退

〈個人戦〉

66kg級 近谷 奏空

一回戦敗退

73kg級 太田 海帆

一回戦敗退

81kg級 齋藤 恵

二回戦敗退

◆サッカー(遠野市)

一回戦敗退

◆男子バレーボール(宮古市)

二回戦敗退

◆男子ソフトテニス(盛岡市)

〈個人戦〉 梅澤 尚人、

大木 藍斗 一回戦敗退

◆バトミントン(一関市)

〈男子団体〉 第3位

〈個人シングルス〉 優勝

菅原 慎人

〈個人ダブルス〉 一回戦敗退

柴田 晃希、佐藤 奏汰

〈女子団体〉 二回戦敗退

〈個人シングルス〉

一回戦敗退 石川 希音

〈個人ダブルス〉 一回戦敗退

多田 麗羅、照井 仁奈

〈個人ダブルス〉

二回戦敗退

小原 虹愛、田中 奈々

◆ソフトボール(花巻市)

第2位



サッカー競技



ソフトボール部



陸上競技

わが同好会の紹介①
矢沢吟詠会

多田アツ子

矢沢吟詠会は、胡四王神社の宮司をしておられた杉山昌之さんが中心となつて設立され、詩吟をこよなく愛する先輩の方々が永々と詠い継いできた会で、現在は、11人の会員が第2・第4金曜日の10時に談話室に集います。



初めに会詩を合吟し、次に口を大きく開け大声で頬や喉の筋肉を動かしながら声帯のトレーニングで声ならしをします。それから、「鞭声粛粛」で有名な「川中島」とか西郷隆盛の奮闘を詠んだ「城山」などを、詩吟独特の伸ばしどころを工夫しながら吟じ合います。紫波から通われている阿部岳恭先生に基本的なことを教わりながら各自の課題とする吟の練習にも励みます。何といったても、聞き

覚えのある昔懐かしい漢詩や短歌を朗朗と吟じたり、自分なりの声質や声量で自分流に吟じていいところ、自分が氣楽で、詩吟の魅力にはまりやすいところでもあります。

また、声を張り上げること、ストレス発散となり胆力も鍛えられ心身の健康にも良いということ、明るく楽しく笑いの中で詩吟に親しんでおります。

会員の中には、親類や知人の結婚式とか年祝の席で鍛えた喉を披露して喜ばれたり、宴席の場を盛り上げて楽しんでる人達もおります。

集う場が少なくなつたこんなご時世に詩吟に親しみ味わうのもいいものです。お気軽にのぞいてみてください。



矢沢地区文化祭で披露する矢沢吟詠会

私のひとこと

佐藤美知子



昔古来より、歌い継がれてきた民謡は労作業唄、祝い唄、座敷唄、道中唄など数々670ほどあります。

私たち民謡の藤美会は矢沢振興センターで月2回、第1と第3金曜日の午後2時から4時までの2時間練習を行っています。またボランティア活動にも色々と参加させていただいております。

三味線の会様や踊りの会様との交流もあり、大変勉強になります。民謡の大会も色々な部門で数々の賞も



矢沢振興センターでの練習風景



矢沢地区文化祭でのご披露



ただいております。声を出すことは健康にもつながり、長生きされている方がたくさんいます。日本コロンビア東北の皆さんとの交流を兼ねて一泊旅行などもあり楽しんでいきます。是非皆様方の参加をお待ちしております。

【編集後記】

今回で「やまぼうし」は37号となりますが最近、コロナウイルス感染が大幅に増えて来っており、全国の感染者数が多い一日に万人を超える日が多くなつて来て世に不安を与えています。

感染拡大の影響で様々な行事が規模縮小・中止が多くなっています。

この様な状況の中で東京オリンピックが半ば強行開催されました。

開催については賛否両論がありました。参加選手のみならず、むきな姿には共感と希望を与えてくれるものでした。

矢沢地域でもオリンピックとは言い難い話題が有ればやまぼうしに記載したいが暫くは無理そうです。

編集委員 松田 好隆



今年も見事に咲きました！ウニサボテン（エキノブシ）荒屋敷の小田島勝さん提供